

令和4年度大豆生育定期調査結果 No.4 (登熟期)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部水田利用研究室
(生産基盤研究部: TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

○農業研究センター本部 (北上、調査日: 9月5日)

1 気象経過 (図1)

8月の気温は平年並〜低く推移し、8月第6半旬は平年を大きく下回った。8月の日照時間は第5半旬を除いて平年を下回り、降水量は平年を上回った。9月第1半旬も引き続き低温・寡照となり、降水量も平年を上回った。

2 栽培条件

- (1) 調査場所 農業研究センター: 北上市成田 標高90m
- (2) 土壌条件 農業研究センター: 淡色多湿黒ボク土 (水田転換1年目)
- (3) 種子消毒: クルーザーMAXXの塗沫処理
- (4) 播種日、栽植密度及び播種粒数: 6月6日、9.52株/m²、2粒播き (出芽後1本立てに間引き・補植)
- (5) 施肥量 (基肥) N:4kg/10a、P₂O₅:12kg/10a、K₂O:10kg/10a、堆肥2t/10a
- (6) 中耕培土: 7月4日、7月12日、7月21日の3回
- (7) 病虫害防除: トレボン乳剤+プロポーズ顆粒水和剤 (7月14日)
リドミルゴールドMZ+スミチオン乳剤 (7月29日)
プロポーズ顆粒水和剤+スミチオン乳剤 (8月5日)
ジマンダイセン水和剤+プレバゾンフロアブル5 (8月17日)
ジマンダイセン水和剤+トレボン乳剤 (8月24日)

3 生育概況 (表1)

8月の低温・寡照の影響により生育は緩慢となり、過去5か年平均 (以下、平年と表記) に比べ、主茎長は+8.2〜+16.2cm、茎径は-0.12〜+0.65mm、主茎節数は+0.4〜+1.4節、分枝数は-0.3〜+0.4本/株、葉面積指数は+0.400〜+1.346と、主茎長を除き、平年並みの生育となった。

地上部乾物重は平年比135〜155%と重く、莢生体重も118%〜143%と平年を上回った。

表1 播種90日後 (9月5日) の生育調査結果

品種	年次	開花期	主茎長 (cm)	茎径 (mm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本/株)	葉面積指数*2 (LAI)	地上部乾物重 (g/m ²)	莢生体重 (g/m ²)
ナンブシロメ	令和4年	7/26	71.2	11.98	15.8	6.2	6.044	943.5	1442.6
	過去5か年平均*1	7/27	55.0	11.33	14.7	5.8	4.698	607.3	1006.9
	差・比	-1	+16.2	+0.65	+1.1	+0.4	+1.346	155%	143%
リュウホウ	令和4年	7/27	66.7	11.14	15.8	4.6	4.832	827.0	1246.2
	過去5か年平均	7/30	52.3	11.26	14.4	4.9	4.432	614.3	1057.2
	差・比	-3	+14.4	-0.12	+1.4	-0.3	+0.400	135%	118%
シュウリュウ	令和4年	7/28	64.1	12.04	15.9	4.8	5.993	923.7	1372.5
	過去5か年平均	8/2	55.9	12.16	15.5	4.7	4.934	636.2	1009.3
	差・比	-5	+8.2	-0.12	+0.4	+0.1	+1.059	145%	136%

*1: 過去5か年はH29年〜R3年のデータ。

*2: 葉面積指数は単位面積あたりの葉の総面積。

4 半旬別気象経過図

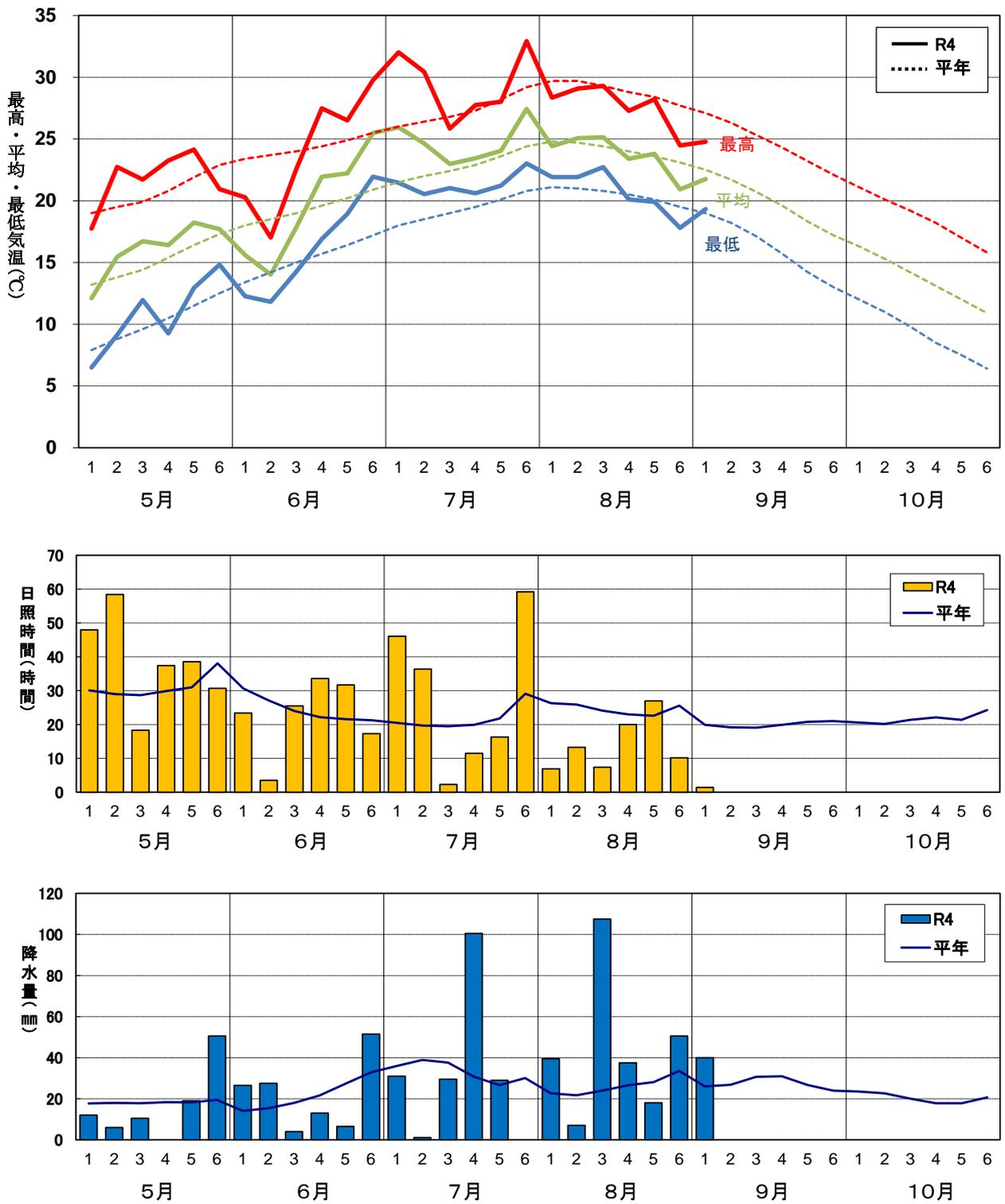


図1 気象経過図 (アメダス北上)